

第4章 地域診断

1 地域の現状

(1) 地域別人口

- 地域別では、大森地区が最も多く、次いで蒲田地区となっています。
- 外国人は、蒲田地区が最も多くなっています。

■図表4-1 大田区地域別人口

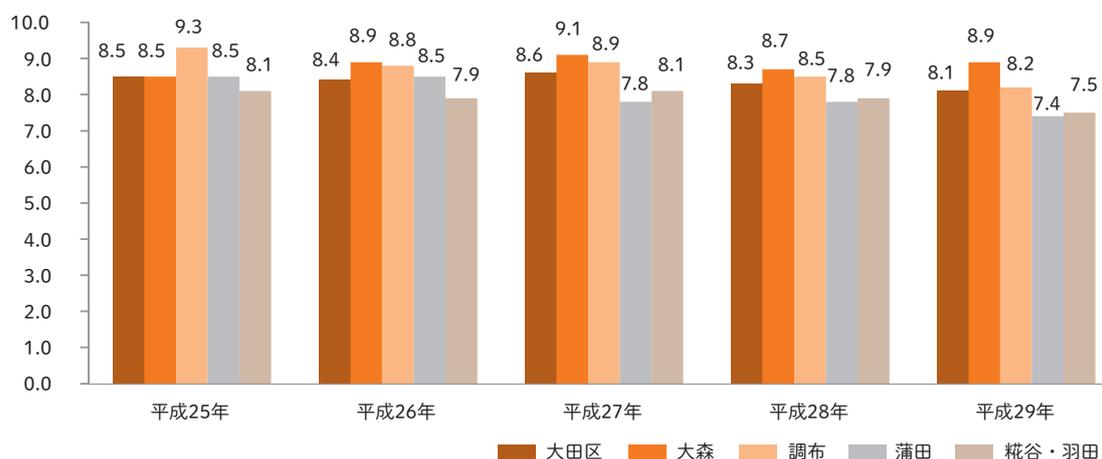
区	総計	日本人			外国人		
		計	男性	女性	計	男性	女性
区	723,267	700,723	349,799	350,924	22,544	10,701	11,843
大森	221,472	214,896	107,695	107,201	6,576	3,131	3,445
調布	187,696	183,215	87,422	95,793	4,481	2,285	2,196
蒲田	216,771	207,662	106,686	100,976	9,109	4,221	4,888
糎谷・羽田	97,328	94,950	47,996	46,954	2,378	1,064	1,314

出典：大田区住民基本台帳（平成29年10月1日現在）

(2) 地域別出生率

- 区全体と比べて、大森地域は出生率が高く、蒲田地域と糎谷・羽田地域は低い傾向にあります。

■図表4-2 大田区地域別出生率の推移



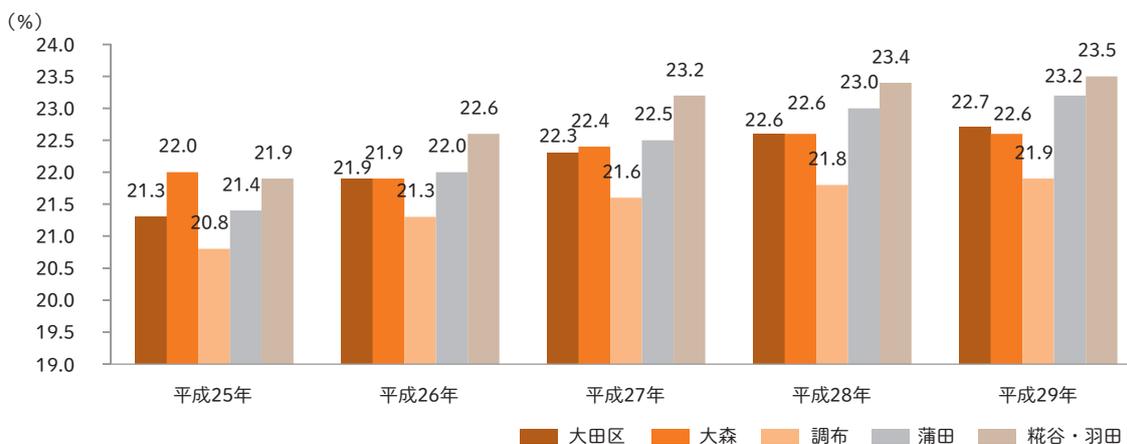
1) 人口千対出生率

出典：保健衛生事業資料集

(3) 地域別高齢化率

- 区全体と比べて、蒲田地域と荻谷・羽田地域の高齢化率が高くなっています。
- 一般的に、高齢化率の高い地域は、死亡率も高くなる傾向があります。

■図表4-3 大田区地域別高齢化率の推移



1) 外国人を含んで算出

出典：保健衛生事業資料集

(4) 主要死因別死亡率

- 区全体の死因別死亡率を東京都と比較すると、がん（悪性新生物）、脳血管疾患、肺炎などで都より高くなっています。
- 大田区内の地域別にみると、「がん（悪性新生物）」は大森地域、蒲田地域、荻谷・羽田地域、「心疾患」は蒲田地域、荻谷・羽田地域、「脳血管疾患」は蒲田地域、「肺炎」は蒲田地域、荻谷・羽田地域、「腎不全」は荻谷・羽田地域、「老衰」は調布地域で、区全体より4ポイント以上高くなっています。

■図表4-4 主要死因別死亡率（平成25～29年平均）

地域	計	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	慢性閉塞性肺疾患	肝疾患	腎不全	老衰	不慮の事故	自殺
国	1035.0	295.4	158.5	90.0	92.6	13.2	12.8	19.9	67.8	31.2	18.4
都	857.8	257.1	129.9	69.9	72.9	10.6	13.5	14.1	54.2	20.5	17.3
区	875.8	268.7	128.7	72.3	74.5	10.8	15.0	15.8	50.8	21.4	15.6
大森	858.8	273.0	120.0	73.9	63.7	10.3	14.8	15.1	46.7	21.6	15.8
調布	833.9	252.3	119.4	65.6	72.8	9.1	13.1	14.2	58.6	22.4	13.2
蒲田	910.0	275.6	135.5	76.5	84.0	12.2	16.8	16.1	49.9	20.2	17.6
荻谷・羽田	919.4	275.8	150.9	72.3	81.2	12.3	14.9	19.8	47.2	21.7	15.1

1) 人口10万対粗死亡率

2) 区については、都より死亡率が1ポイント以上高いものに網掛け

3) 地域については、区全体より死亡率が4ポイント以上高いものに網掛け

出典：区「保健衛生事業資料集」

都「東京都人口動態調査」

国「厚生労働省人口動態調査」

(5) がん（悪性新生物）の部位別死亡率

- 区全体のがんの部位別死亡率を東京都と比較すると、「大腸がん」、「気管、気管支及び肺のがん」（以降肺がんとする）などで都を上回っています。
- 大田区内の地域別にみると、「胃がん」は糀谷・羽田地域、「大腸がん」は蒲田地域、「肝臓がん」は糀谷・羽田地域、「肺がん」は大森地域、蒲田地域、糀谷・羽田地域で、区全体より2ポイント以上高くなっています。

■図表4-5 悪性新生物の部位別死亡率（平成25～29年平均）

地域	悪性新生物	再掲						
		胃	大腸	肝臓	気管、気管支及び肺	乳房	子宮	
国	295.4	37.4	39.4	23.1	58.9	11.0	9.9	
都	257.1	31.0	35.4	17.7	49.9	11.5	9.3	
区	268.7	30.8	38.5	17.7	54.3	11.9	9.9	
大田区	大森	273.0	30.6	37.6	18.7	56.4	12.5	10.4
	調布	252.3	29.2	35.6	16.0	46.6	12.5	9.9
	蒲田	275.6	30.9	42.9	17.1	57.8	11.4	9.2
	糀谷・羽田	275.8	33.6	36.1	20.4	56.7	10.6	10.4

1) 人口10万対粗死亡率

2) 区については、都より死亡率が1ポイント以上高いものに網掛け

3) 地域については、区全体より死亡率が2ポイント以上高いものに網掛け

出典：区「保健衛生事業資料集」

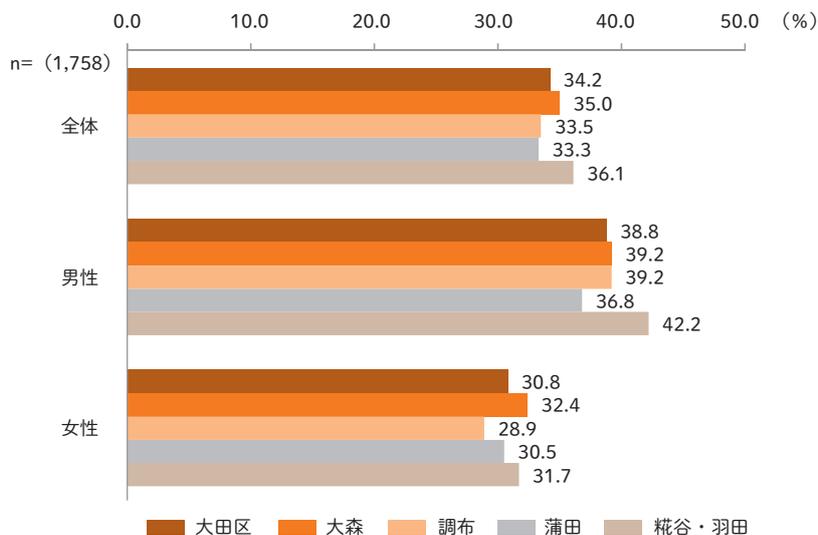
都「東京都人口動態調査」

国「厚生労働省人口動態調査」

(6) 運動実施率

- 運動実施率をみると、女性の調布地域がやや低くなっています。

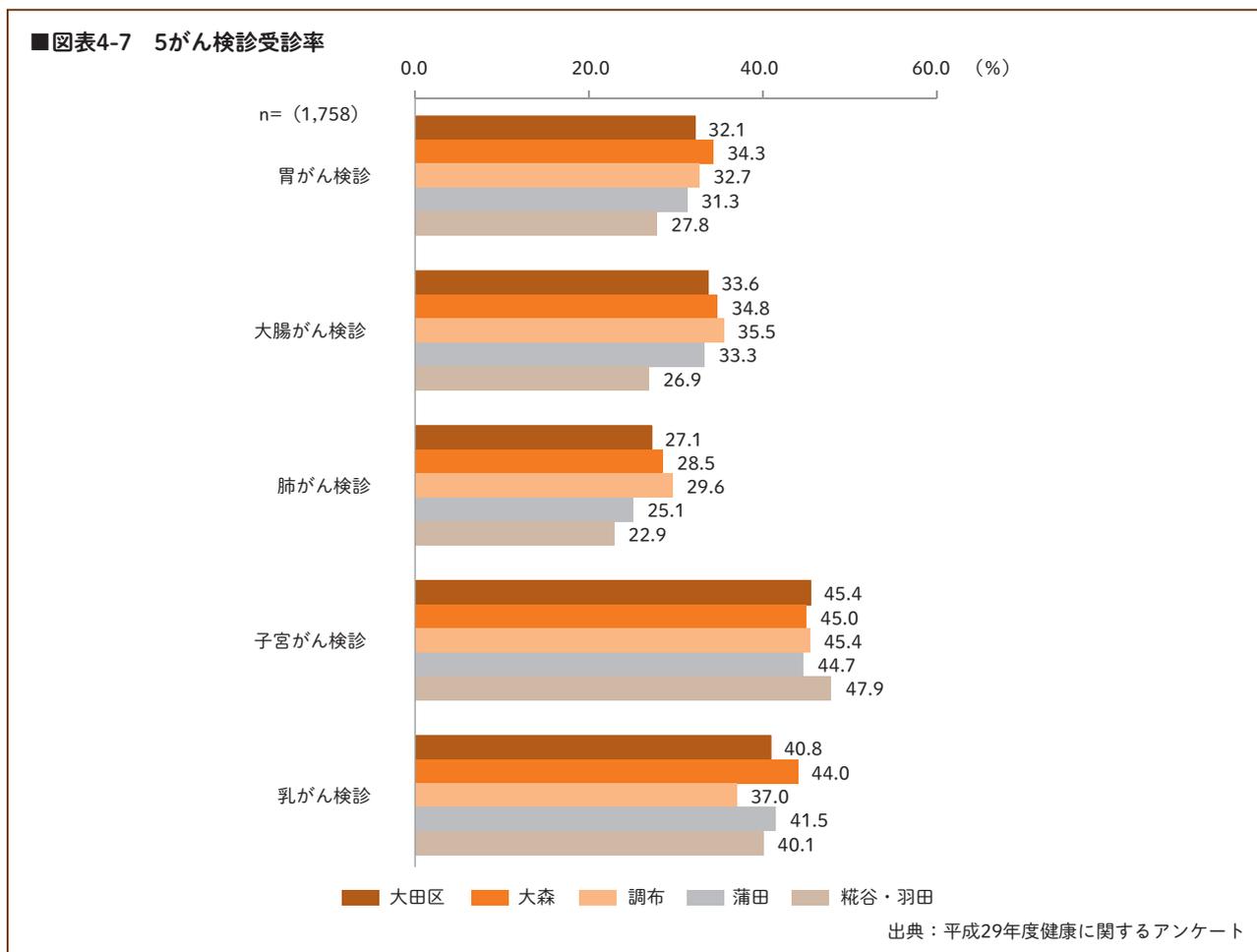
■図表4-6 運動をしている区民の割合



出典：平成29年度健康に関するアンケート

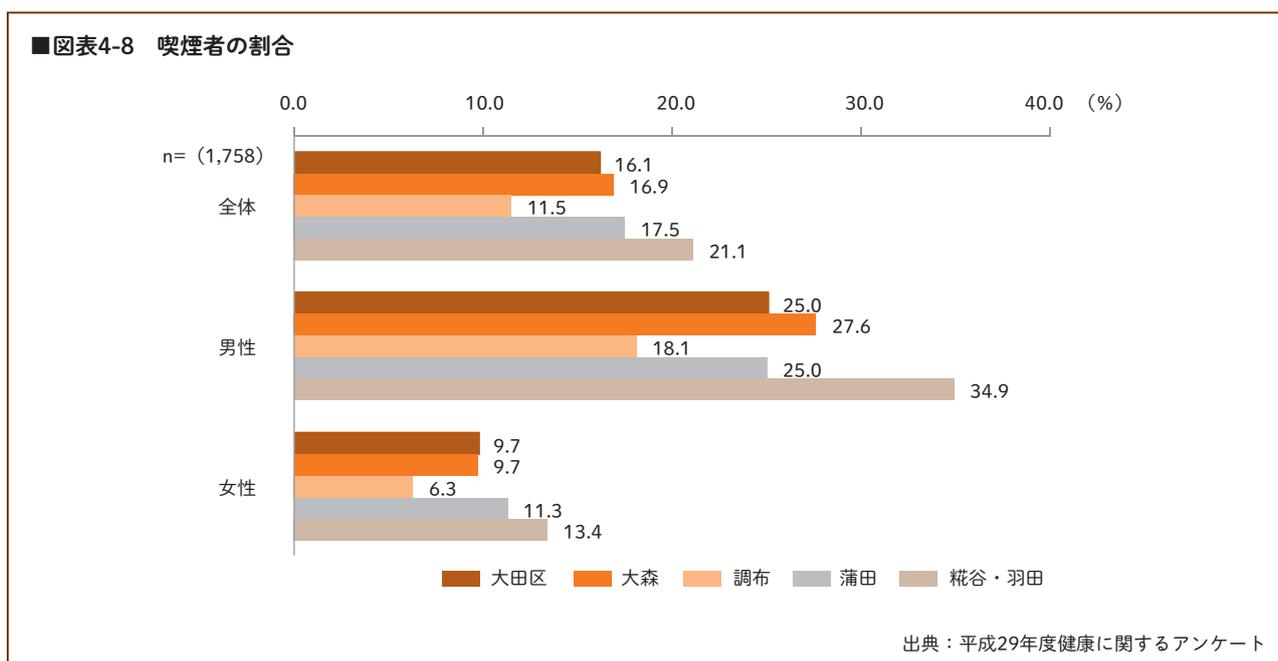
(7) がん検診受診率（5大がん別）

○5大がん別のがん検診受診率は、いずれも国の目標である50%を下回っています。



(8) 喫煙者の割合

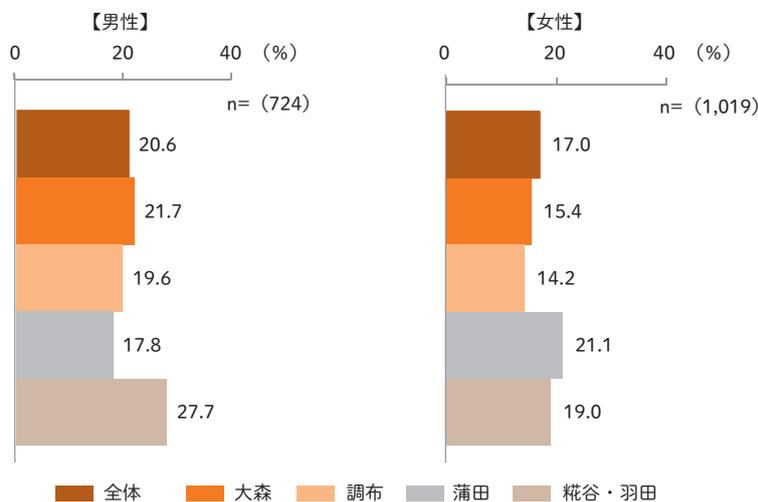
○性別・地域別で見ると、男性、女性とも糀谷・羽田地域が高くなっています。



(9) 生活習慣病のリスクを高める量の飲酒をしている割合

○生活習慣病のリスクを高める量（日本酒にして男性は2合以上、女性は1合以上）の飲酒をしている割合をみると、男性は糀谷・羽田地域の割合が高く、女性は蒲田地域の割合が高くなっています。

■図表4-9 性別飲酒量（男性：2合以上 女性：1合以上）

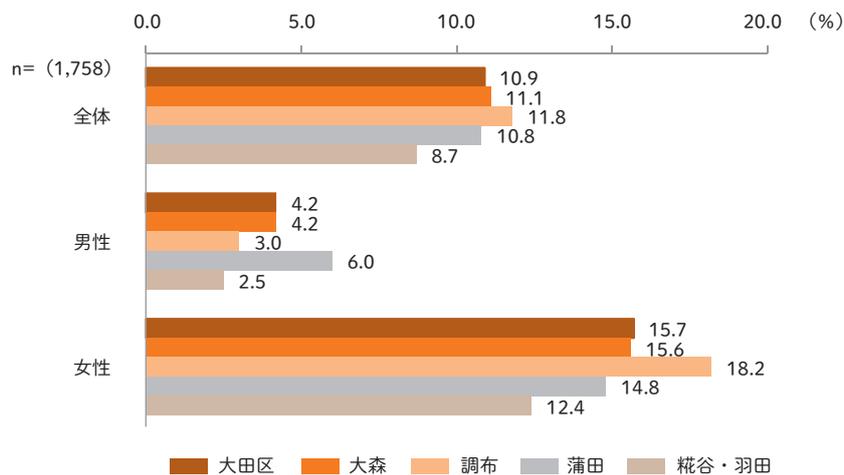


出典：平成29年度健康に関するアンケート

(10) やせ (BMI 18.5未満) の割合

○性別・地域別でみると、女性の調布地域が高くなっています。

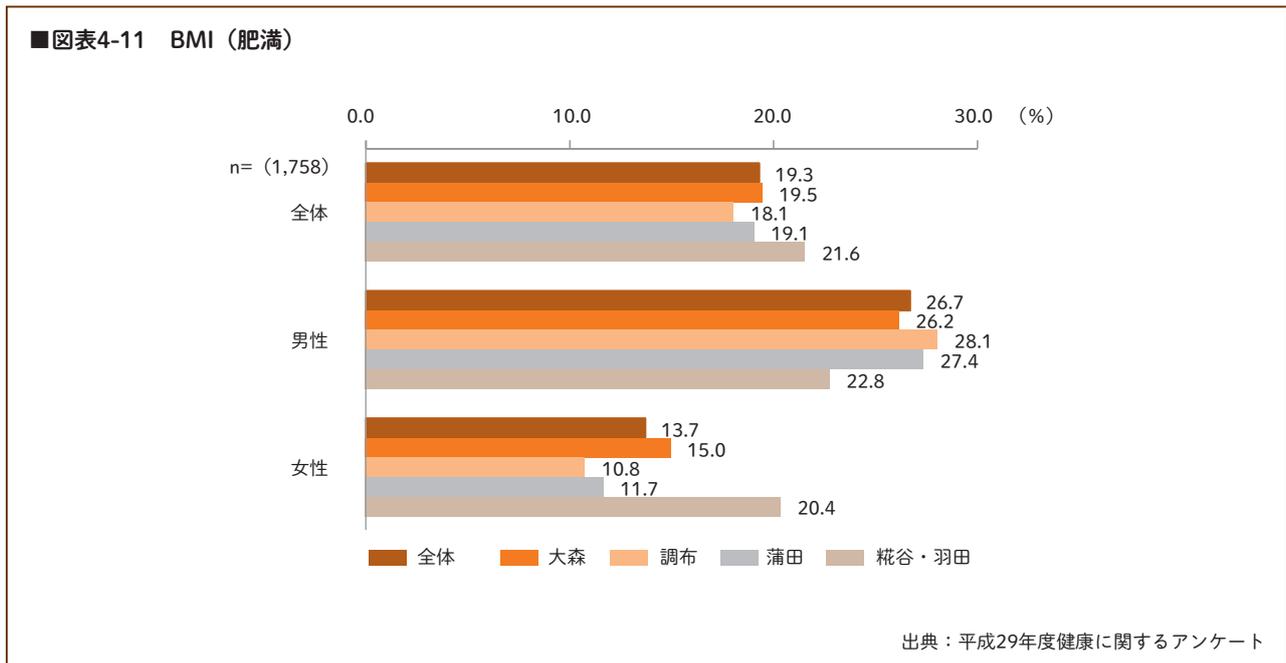
■図表4-10 BMI (やせ)



出典：平成29年度健康に関するアンケート

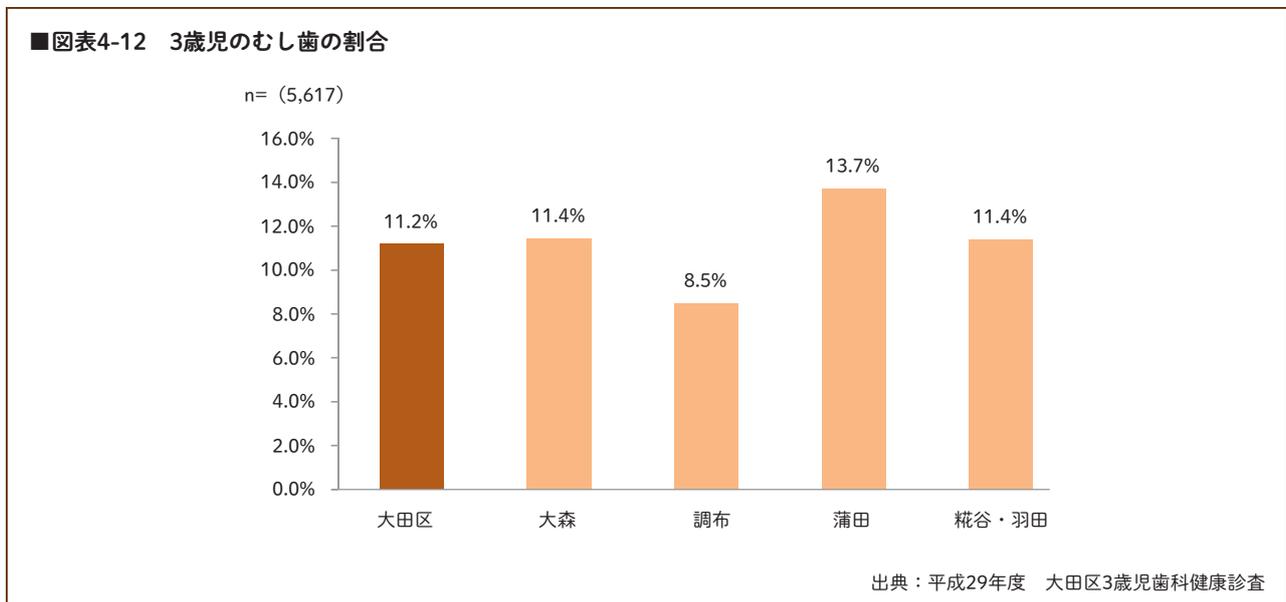
(11) 肥満（BMI 25.0以上）の割合

○性別・地域別で見ると、女性の糀谷・羽田地域が高くなっています。



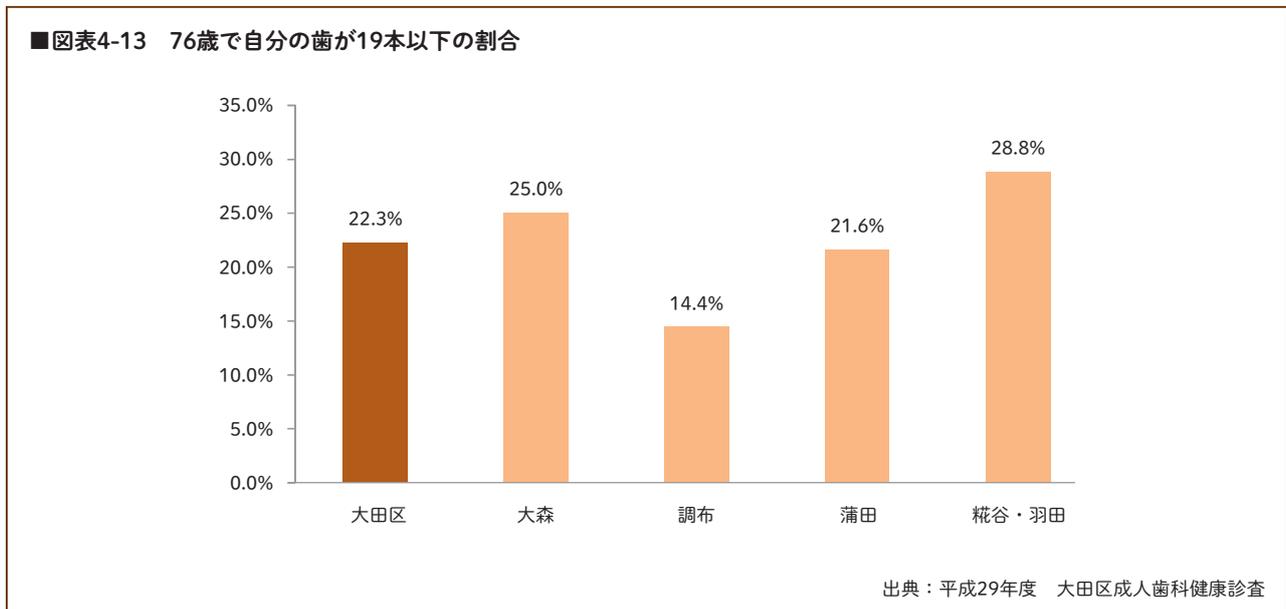
(12) むし歯のある子ども（3歳児）の割合

○むし歯のある3歳児の割合をみると、蒲田地域が最も高くなっています。



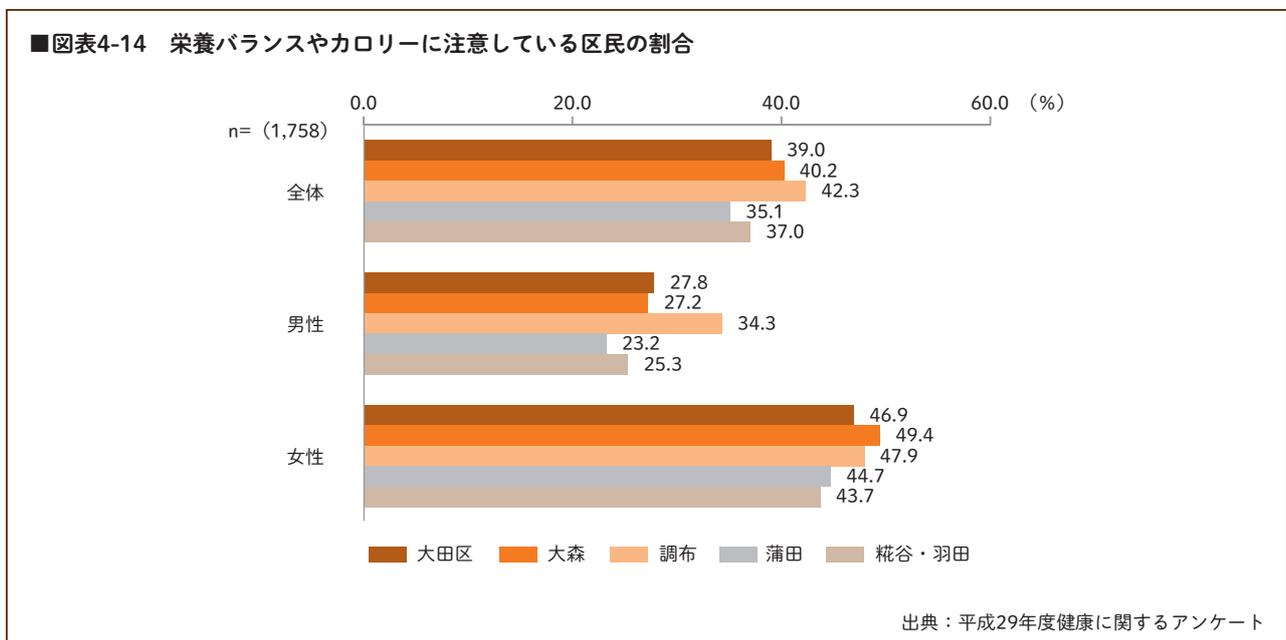
(13) 76歳で自分の歯が19本以下の区民の割合

○76歳で自分の歯が19本以下の区民の割合をみると、大森地域と糀谷・羽田地域が区の平均より高くなっています。



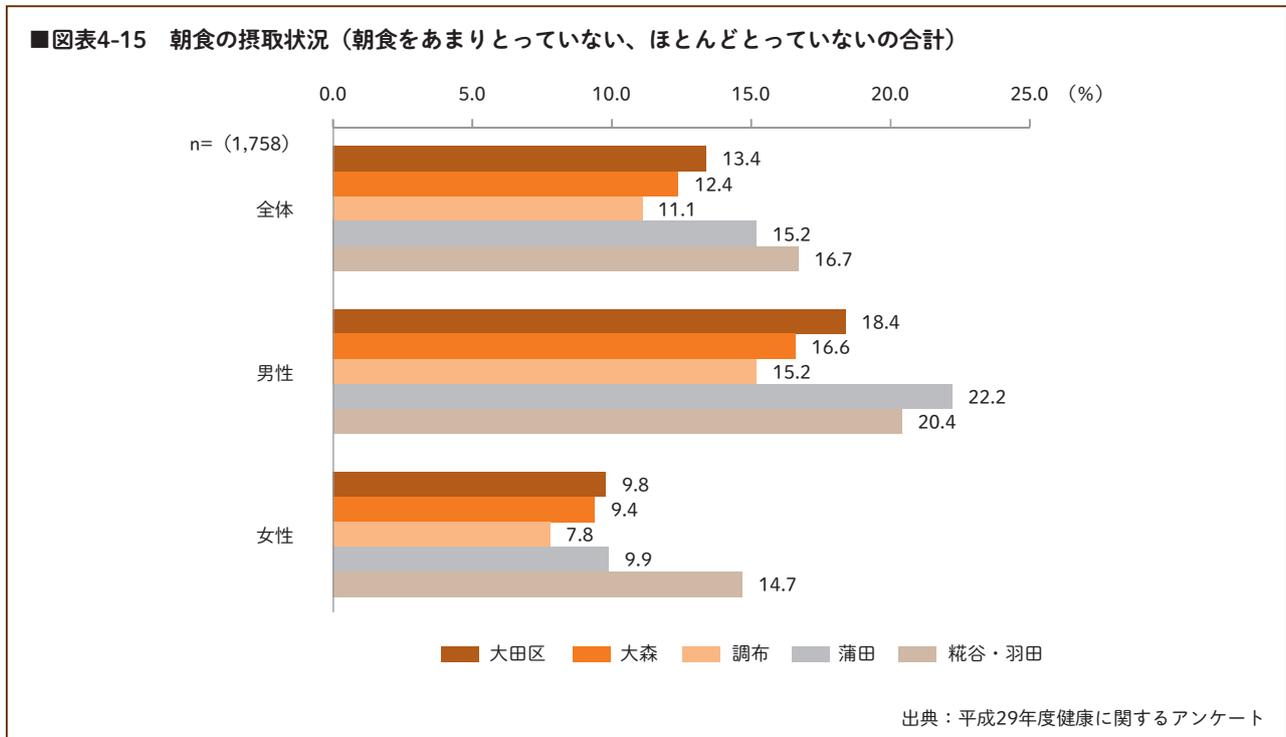
(14) 日頃の食生活で栄養バランスやカロリーに注意している区民の割合

○性別・地域別でみると、男性の蒲田地域の割合が低くなっています。



(15) 朝食の摂取状況

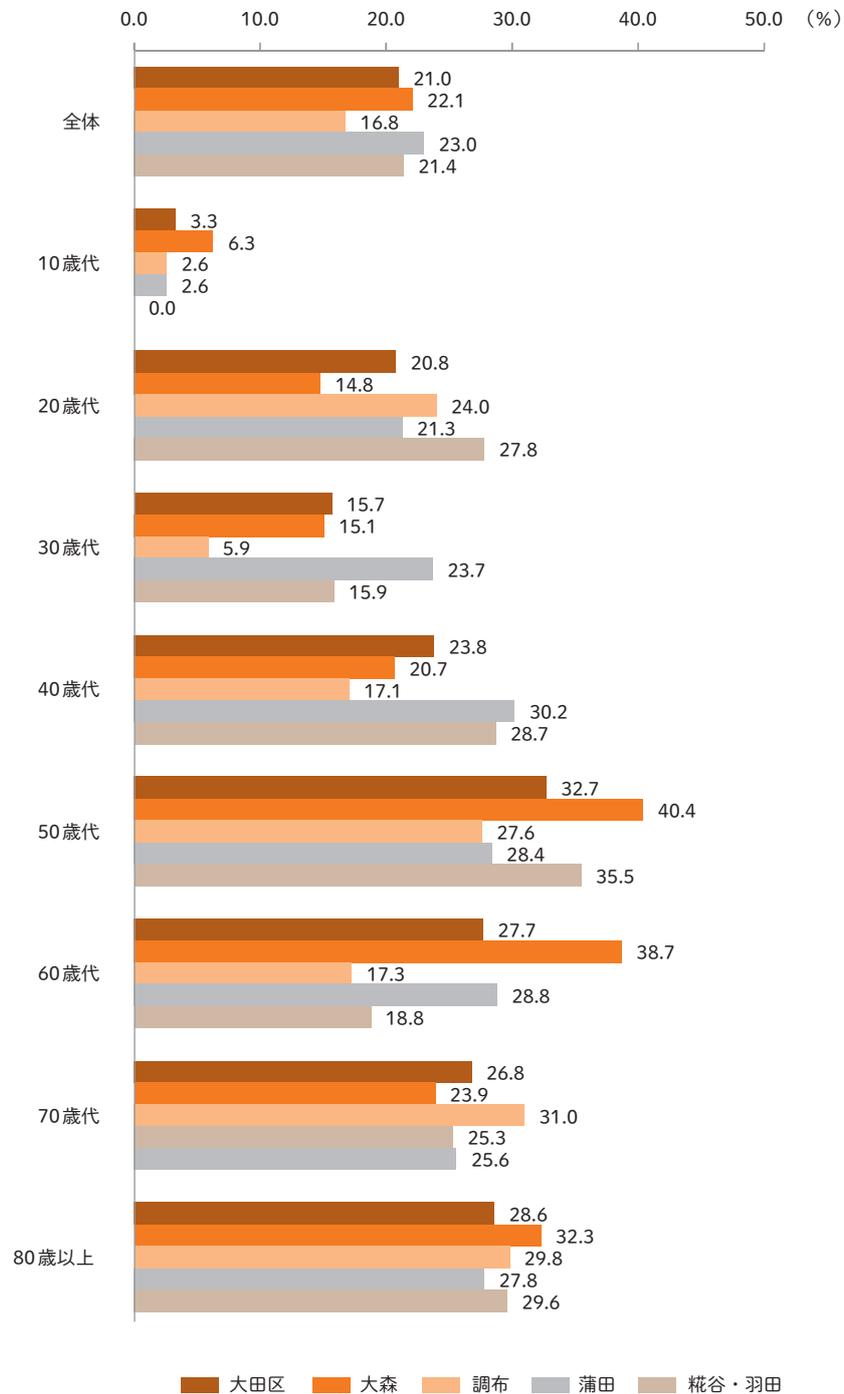
○性別・地域別に「朝食をあまりとっていない」、「ほとんどとっていない」区民の割合をみると、男性では蒲田地域と糎谷・羽田地域、女性では糎谷・羽田地域の割合が高くなっています。



(16) 自殺による死亡率（男性）

○地域別に男性の自殺死亡率をみると蒲田地区が高く、50歳代と60歳代では大森地域が高くなっています。

■図表4-16 年代別地域別男性の自殺死亡率（平成25～29年平均）



1) 人口10万対粗死亡率

出典：平成25～29年 大田区人口動態統計

2 地域の特性に応じた重点的な取組

地域の健康づくりについては、区内4か所の地域健康課が中心となって取り組んでいます。ここでは、地域の現状からみた課題を踏まえ、各地域で特に重点的に取り組むべき内容について決めました。

1 大森地域

(1) 地域の特徴

JRの線路を挟んで海側には、日本の先端技術を担う町工場と住宅が混在しています。近年は、大規模マンションの建設も進み、子育て世代の人口が多くなっています。

また、山側には貝塚などの遺跡や池上本門寺、大正から昭和初期にかけての馬込文士村があり、歴史や文化を感じることができる緑多い住宅街が広がっています。



池上本門寺の五重塔

(2) 地域の健康課題と取組の方向性

ア がん対策・喫煙

■現状・課題

- 肺がんによる死亡率が、区全体と比べて高くなっています。
- 喫煙者の割合が、区全体と比べて高くなっています。

■取組の方向性

- 健康教育、健康相談、乳幼児健康診査など、様々な機会を活用して、がん検診の受診勧奨、喫煙の健康被害に関する情報提供、禁煙支援に関する取組の周知を行います。
- リーフレットなど様々な媒体の活用や、自治会・町会、商店街、企業・事業所など地域との連携によって、がん予防に関する知識の普及・啓発を行います。

イ 食育の推進

■現状・課題

- 若い世代の肥満割合が、区全体と比べて高くなっています。
- 朝食の摂食状況が、区全体と比べて低くなっています。

■取組の方向性

- リーフレットなど様々な媒体の活用による啓発や、地域団体との連携によって、子どもを含めた若い世代の食育を推進します。
- 乳幼児健康診査や各種健康教育の機会を活用し、食育推進のために情報提供、啓発を行います。
- 自治会・町会、地域の飲食店、商店街、地域団体、コンビニエンスストアなどとの連携により、食に関する啓発を進めます。
- 給食施設の指導を充実させ、企業などの従業員が望ましい食生活を送れるよう支援します。

ウ こころの健康・自殺対策

■現状・課題

- 男性の自殺による死亡率が区全体と比べて高く、特に50歳代と60歳代で高くなっています。

■取組の方向性

- 専門医や保健師による個別相談、精神保健福祉講座の開催、依存症家族会の開催など、家族や関係者がこころの病気についての理解を深め、適切な関わり方を学ぶ機会を提供します。
- 地域と連携し、相談窓口やゲートキーパー養成講座に関する情報提供を行います。

H30年度 大田区主催 精神保健福祉講座

よくわかる 参加費無料
依存症の基礎知識

ご家族や友人で、お酒の飲み方がエスカレートして困っている人はいませんか？
一人で悩まず、対応の基礎を学んでみませんか？

日時	テーマ	講師
1日目 11月10日(土) 9:30~11:30	アルコール依存症とは何か — 医学的基礎知識 —	久保田医療センター 眞栄望 仁氏
2日目 11月17日(土) 9:30~11:30	回復者、家族からのメッセージ 困った行動への対応方法 家族のメンタルヘルス	自助グループ参加者 精神保健福祉士 板倉 康広 氏

10月1日 予約開始

対象：家族のお酒の問題にお困りの方、
依存症に関心のある方で、
2日間参加できる方
定員：先着35名

◎事前に下記までお申し込みください◎
申し込み・問い合わせ先：大田区保健所 大森地域健康課
電話 03 (5764) 0661

《会場》
入新井集会所(小集会所)
1階(ラズ)大森4階
大田区大森北1-10-14
(JR大森駅東口徒歩3分) 裏面地図をご参照ください。



精神保健福祉講座のパンフレット



専門医による個別相談の様子

2 調布地域

(1) 地域の特徴

区西部の多摩川沿いに位置し、水と緑に恵まれ、自然との調和がとれた閑静な住宅街が広がる地域です。

街中や公園には、古い木々も数多く残り、季節により、梅や桜、けやき、いちようなどが街並みを彩ります。また、古墳や竪穴式住居などが発見されているほか、歴史的著名人にゆかりのある史跡も数多く有しており、歴史を感じることができる地域でもあります。



田園調布のいちよう並木

(2) 地域の健康課題と取組の方向性

ア がん対策

■現状・課題

○乳がんの検診受診率が、区全体と比べて低くなっています。

■取組の方向性

○健康教育、健康相談、乳幼児健康診査、両親学級など様々な機会を活用して、がん検診の受診勧奨を行います。

○パンフレットやリーフレットなど様々な媒体を活用して、がん予防についての知識の普及・啓発を行います。

イ 食育の推進

■現状・課題

○区全体と比べて女性のやせが多く、男性の肥満は若干多くなっています。

■取組の方向性

○所内健康教育、両親学級・育児学級、乳幼児健康診査、保育園や児童館での健康教育などの機会を活用し、食生活・食習慣改善に取り組みます。

○自治会・町会、地域の飲食店、商店街、コンビニエンスストアなどと連携し、食に関する情報提供に取り組みます。



若い男性対象の料理教室「パパクッキング」

月に1度乳がんの自己触診を！



ピンクリボン*

乳がんは、がんの中でただ一つ、自分で早期に発見できるがんです。

30歳を過ぎたら、毎月1回日を決めて、乳房の自己チェックをしましょう！

目でチェック

1



鏡に向かい、両腕を高く上げて、「ひきつれ、くぼみ、ふくらみ、乳首や乳輪の変化」はないか確認します。

2



両腕をまっすぐ下に下した状態で、①と同じように確認します。

触ってチェック

1



3～4本指をそろえ、指の腹と肋骨で乳房をはさむように触れます。「の」の字を書くように、しこりがないか乳房全体をチェックします。特に乳房の上部外側に注意しましょう。(乳がんがしやすい部分です)

2



仰向けになり、わきの下に手を入れてしこりがないかチェックします。

3



乳房や乳首をしぼるようにして、分泌物が出ないかチェックします。

3 蒲田地域

(1) 地域の特徴



蒲田駅前広場

広大な河川敷には野球場などスポーツ施設が整備されており、多くの区民が利用しています。

また、矢口地区は大小様々な事業所・工場、住宅地が混在しています。近年では大規模マンションの建設が進み、新たなまちなみが形成されています。

さらに蒲田駅周辺は商業地区を形成し、区役所本庁舎、蒲田地域庁舎、産業プラザなどが存在し、多くの人で賑わっています。

(2) 地域の健康課題と取組の方向性

ア がん対策・喫煙

■現状・課題

- 大腸がん、肺がんによる死亡率が、区全体と比べて高くなっています。
- 喫煙者の割合が、区全体と比べてやや高くなっています。

■取組の方向性

- 健康教育、健康相談、健康診査、妊娠届出時など様々な機会を活用して、がん検診の受診勧奨、喫煙の健康被害に関する情報提供、禁煙支援に関する取組の周知を行います。
- 自治会・町会、商店街、企業・事業所など地域の様々な主体と連携して、がん予防についての啓発を行います。

イ 飲酒

■現状・課題

- 女性で生活習慣病のリスクを高める量の飲酒をしている割合が、区全体と比べて高くなっています。

■取組の方向性

- 妊娠届出時、両親学級・育児学級、乳幼児健康診査など機会を利用し、若い世代を中心に、飲酒による健康影響についての情報提供を行います。

ウ 歯と口腔の健康

■現状・課題

○むし歯のある3歳児の割合が、区全体と比べて高くなっています。

■取組の方向性

○両親学級・育児学級、乳幼児歯科相談、健康診査、保育園や児童館での健康教育などの機会を活用し、子どものむし歯予防や口腔機能の発達に関する相談・情報提供を行います。

○子育て世代が集まる地域の施設、イベントなどと連携し、情報提供を行います。



乳幼児歯科相談



むし歯予防のパネル展示

エ 食育の推進

■現状・課題

○男性で栄養バランスやカロリーに注意している割合が、区全体と比べて低く、朝食をとっていない割合が高くなっています。

■取組の方向性

○自治会・町会、地域の企業・事業所と連携し、働き盛り世代の食生活・食習慣改善に取り組みます。

○地域の飲食店、商店街、コンビニエンスストアなどと連携し、食に関する情報提供に取り組みます。

オ こころの健康づくりと自殺対策の推進

■現状・課題

○男性の自殺死亡率が区全体と比べて高く、特に30歳代、40歳代で高くなっています。

■取組の方向性

○専門医や保健師による個別相談とともに、うつ病をテーマに家族などの関係者が病気についての理解を深め、適切な関わり方を学ぶ機会を提供します。

○地域の企業・事業所と連携し、相談窓口やゲートキーパー養成講座に関する情報提供を行います。

イ 飲酒

■現状・課題

- 生活習慣病のリスクを高める量の飲酒をしている男性の割合は、区全体と比べて高くなっています。

■取組の方向性

- 飲酒が健康に及ぼす影響について、啓発を強化していく必要があります。
- 各地区の会議や地域イベントなどでの情報提供、啓発により、適正な飲酒量についての認知度を向上させます。
- 両親学級、育児学級、乳幼児健康診査などあらゆる機会を利用し、飲酒による健康への影響について周知します。

ウ 歯と口腔の健康

■現状・課題

- 76歳で自分の歯が19本以下の人の割合が、区全体と比べて高くなっています。

■取組の方向性

- 生涯にわたり自分の歯で食べられるよう、歯周病予防や口腔の健康に関する啓発を行い、健康の保持・増進に努めます。
- 歯周病予防に関する知識の普及と、セルフケアのための体験学習に関する歯周病予防教室を実施します。
- 口腔機能低下予防や誤えん性肺炎予防について、定期的に健康講座を実施します。
- 地域の依頼やニーズに合わせ、高齢者施設や児童館などに出向き、出張健康教育を実施します。



成人歯科教室

エ 食育の推進

■現状・課題

- 朝食をあまりとっていない、ほとんどとっていない人の割合が、区全体と比べて男女とも高くなっています。

■取組の方向性

- 朝食をとる重要性、朝食をとる工夫を含め、1日3食規則正しい食習慣が身につくよう啓発し、生活習慣病の予防や改善にも努めます。
- 子育て世代は、乳幼児健診、育児学級等で啓発し、ライフステージに合わせた食育講座として栄養関係講習会やシニア世代の食生活などの食育講座を実施します。
- 随時、栄養士による面接や電話による個別栄養相談を実施します。
- 地域のニーズに合わせ、児童館、高齢者施設、企業等への出張健康教育を実施します。

